



文教のまち西原

平和で人間性豊かなまちづくり

西原町は、平和な世界の創造を目指し、平和活動を推進するため、個人の人間性を尊重し、あらゆる町民が生涯を通して学び、文化を継承発展させるとともに創造していくことのできるまちづくりに努めています。

Peaceful and Human-centric Community Development

Seeking to create a peaceful world, Nishihara undertakes various peace activities. Respecting people's individual nature, we strive to develop a community in which culture is passed on and developed, and where every citizen can pursue lifelong learning.



世界に羽ばたく西原高校マーチングバンド





西原町平和音楽祭での黙禱

平和行政

本町は去る大戦で激戦地となり、当時の住民の約半数近くの尊い命と多くの財産、そして貴重な文化遺産や自然を失いました。平和行政の推進は町政の最重要課題として位置づけられており、沖縄戦の悲劇を忘れることなく「命どう宝」を後世に語り継ぎ、平和な社会建設に努めています。

Peaceful Government

Nishihara was the site of fierce battles in the Battle of Okinawa. Approximately half of the residents lost their lives and besides this irreplaceable loss, property, valuable heritage and environmental resources were lost. Peaceful government is positioned as the most important issue for the town administration, and we are working to build a peaceful society by ensuring that the tragedy of the Battle of Okinawa is not forgotten and by passing on the respect for life to posterity.

平和月間

本町では6月を「西原町平和月間」と定めています。平和事業の重点的施策（西原町平和条例）の推進と相互の関連性を持たせ、住民、地域、学校、大学、企業、行政や関係団体が一体となって、平和音楽祭をはじめとする事業を実施し、平和行政を推進しています。

平和音楽祭

毎年6月23日に開催。戦争を風化させないため、反戦意識の再確認と、音楽文化を通して平和と命の尊さを考える機会を図ります。



西原町戦没者追悼式



西原町平和音楽祭

国際交流

沖縄県は、歴史的・地理的特性と国際性豊かな県民性を活かした国際交流拠点として、大きな期待が寄せられています。本町は戦前・戦後を通じて諸外国に多くの移民を送り出した移民母町です。近年は琉球大学・キリスト教学院大学などに多くの留学生や帰国子女が勉学に励んでおり、諸外国人との交流の場に恵まれています。そこで、各種国際交流事業を推進し、交流の親善と国際化に対応できる人材育成に努めています。

International Exchange

With its historical and geographical characteristics and the cosmopolitanism of its people, Okinawa Prefecture has a bright future as a venue for international exchange. Both before and after the war, Nishihara sent many immigrants to various foreign countries. In recent years, many international students and returnees from abroad are studying at the Okinawa Prefectural University of the Ryukyus and Christian University, making Nishihara an excellent environment for exchanges with various foreign nationals. Therefore we undertake a variety of international exchange projects, and work to develop people who can promote international goodwill and exchanges.

海外移住者子弟研修生受入事業

これまでの在外町人の活躍は、母町にとって大きな誇りであるとともに、国際化時代の今日、国際交流事業を進めていく上で、その担い手として重要な役割を果たしています。そこで本町では、母町と在外西原町人会との絆を深め、なお一層国際交流を進展させるために、1990年から西原町海外移住者子弟研修生受入事業を実施し、ブラジル、ペルー、アルゼンチンの3カ国から毎年研修生を受け入れています。

中学生海外短期留学派遣事業

国際的視野を広めるとともに、海外青少年との友情を深め、国際性を身につけ、21世紀の国際社会に対応できる青少年の育成を図るため、町内中学2年生を対象にハワイへの留学派遣を実施しています。



小波津自治会慰霊祭



中学生海外短期留学



海外移住者子弟
研修生(第23期生)修了式



西原東中学校の授業風景



坂田小学校

学校教育

児童生徒の豊かな心と確かな学力の形成を目指し、教職員研修の充実強化、学校規模・配置の適正化、校舎や施設の整備、教材・備品の拡充、教育課程の改善・充実、平和教育、福祉教育、安全教育、情操教育、国際学習、食育、特別支援教育等の推進など、学校・地域・家庭が一体となって基礎学力向上の推進に努めています。

また、いじめ、不登校問題の解消に向けた教育相談室やスクールカウンセラーの配置、地域住民の教育力を活用した学校支援地域本部の展開、大学などと連携した教育活動の充実発展に取り組んでいます。

School Education

In order to give the students richness of spirit and sound academic ability, schools, community and family work together to enhance basic scholastic ability. This involves improving faculty and staff training, optimizing school size and catchment area, provision of school buildings and facilities, expansion of teaching materials and equipment, improvement and consolidation of educational programs, education in peace, welfare, safety, and aesthetic sensibility, international studies, dietary education, special needs education and so on.

In addition, education help desks and counseling are available to address issues such as bullying and refusal to attend school, and a school support regional headquarters using the educational abilities of local people has been established. Efforts are also being made to coordinate education with the educational activities of universities.

教育環境

本町は、公立幼稚園4園、私立幼稚園1園、小学校が4校、中学校が2校、県立高校が1校、国立と私立合わせて大学4校が立地する、恵まれた教育環境を有しています。また、児童生徒の規模に応じた適正な学習環境の確保・整備に努めています。

Educational Environment

Nishihara has a well-endowed educational environment with 4 public kindergartens, 1 private kindergarten, 4 elementary schools, 2 junior high schools, 1 prefectural senior high school, and 4 national and public universities. To ensure an appropriate learning environment in accordance with the number of students, the school environment is adjusted in response to demographic changes through adjustment of school districts.



坂田小学校

西原小学校

西原東小学校

西原南小学校

西原中学校

西原東中学校

情報教育

本町では、小学生からコンピュータを活用した授業に取り組んでいます。総合的な学習の時間や各教科での活用を行っています。

平和学習

町内に住んでいる戦争体験者などが平和の語りべとなり、子どもたちに戦争体験を伝承、平和の尊さを教えています。

職場体験～チャレンジウィーク～

町立中学校の2年生全員が4日間学校を離れ、職場体験学習「チャレンジウィーク」を行っています。「チャレンジウィーク」には町内約100の各店舗や事業所などが協力し、生徒たちに仕事のやり方や社会人としての心構えを教えます。また、町立小学校の6年生が親の職場等で1日職場を体験する「チャレンジデー」を実施しています。



西原南小学校の読み聞かせ

西原町教育の日

本町では2月の第1土曜日を「西原町教育の日」と定めています。教育に対する意識と関心を一層高め、名実共に「文教のまち西原」の充実を図る事を目的として、各種事業を展開しています。

学校給食

栄養バランスの取れた安全でおいしい給食を提供することで、児童生徒の心身の健全な発達、正しい食習慣の形成などを図っています。



西原小学校 運動会



西原中学校 フラワータウンプロジェクト



中央公民館講座

社会教育

町民の一人ひとりが自己の人格を磨き、豊かな人生を送るために「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶことができる生涯学習体制の確立、文化・スポーツ活動などを含めた多様な学習活動推進施策を実施しています。また、自主的・自発的に活動する各種団体の育成と指導者の養成のため、組織体制の確立や社会教育活動の充実に努めています。

Social Education

To enable residents to develop their own individual character and to lead rich lives, Nishihara has established a lifelong learning system that enables everybody to study, anywhere, at any time. Diverse range of learning activities is offered, including culture and sports. In addition, we are working to establish an organizational structure and social educational activities to train various organizations and leaders involved in voluntary and autonomous activities.

社会体育

西原運動公園には町民体育館、町民陸上競技場、夕陽の広場、パークゴルフ場、町民テニスコートなどが整備され、スポーツ活動の拠点施設として町民の健康維持・増進、体力づくりに活用されています。また、学校体育施設の開放や各種スポーツ教室、指導者講習会、町民スポーツ大会などの事業を推進しています。

Social Physical Exercise

As main sports activity facility, Nishihara Sports Park is provided with a public gymnasium, athletics stadium, sunset plaza, park golf course, tennis courts and other facilities to promote and maintain the health of residents. In addition, schools and sports facilities are open to the public, and various sports classes, leadership courses and public sports events are held.



西原町民テニスコート



元プロ野球選手による野球教室



西原町陸上競技大会



西原町立図書館

西原町立図書館

利用者は県内でも上位に入る西原町立図書館。生涯学習の拠点として多くの町民に利用されており、利用者のニーズに応えられるよう、資料の整備を進めています。



西原町中央公民館

西原町中央公民館

各種事業や講座、サークル活動などが展開され、成果を発表する機会となっています。さらに生涯学習活動の機会や情報を提供し、各種団体の活動拠点としても活用されています。

スポーツ振興

西原町はバレーボールが盛んで、小中学校、高校、一般までたくさんの町民がバレーボールに親しんでいます。選手の努力と指導者の熱意で競技力の高さを県内外で示しており、数々の大会で素晴らしい成績を収めています。

体育施設や公園が整備され、各種スポーツ競技の大会やアスリートのトレーニングに活用されるなど、スポーツを通じた地域振興が推進されています。

Sports Promotion

Volleyball is very popular in Nishihara, and many residents take part in the sport, from elementary and junior high school students to high school students and the general public. The efforts of the players and enthusiasm of the coaches make our teams competitive both within and outside the prefecture, and they have achieved outstanding results in many tournaments.

Nishihara has sports facilities and parks which are used for various sporting events and athlete training, with the aim of promoting regional development through sports.



バレーボールのまち宣言の碑



西原町民陸上競技場で行われたサッカーの試合



西原マリンパーク きらきらビーチ

バレーボールのまち西原

西原町は平成17年12月に「バレーボールのまち西原」を宣言しました。バレーボールをはじめとしたすべてのスポーツを推進し、青少年と町民に夢と希望を与え、明るく活気に満ちた西原町を築いていくために、次の目標を掲げています。

- 1. バレーボールを通して、次代になう青少年を育成します。
- 1. バレーボールを通して、健康な心とからだをつくります。
- 1. バレーボールを通して、交流の輪を広げ友情を育みます。
- 1. バレーボールを通して、明るく活気に満ちた西原町を築きます。

平成17年12月3日 西原町

ビーチバレー各種大会、ビーチバレー教室

マリンタウン地区に整備された西原きらきらビーチは、マリンスポーツも盛んです。特にビーチバレーは大規模な大会が催されたり、国際的に活躍する選手がトレーニングに活用しています。

スポーツコンベンション

西原町内には各種運動施設が整備されています。西原町民陸上競技場は、県内有数の良質な芝と評価されており、国内外のプロサッカーチームなどに利用されています。そのほか、東崎公園や西原町民体育館などの施設がさまざまな競技に活用されており、スポーツの活性化が図られています。





棚原弥勒太鼓（棚原区）



男女共同参画の一環で、町立幼稚園、小中学校は男女混合名簿を採用している

コミュニティ活動・地域活性化

活力に満ちた明るく住みよい地域社会の形成に向けて、各自治会の自主的な地域自治活動を促進するなど、コミュニティ活動を推進しています。

また、各地域の伝統や文化の継承・発展を目指し、さまざまな事業が展開されています。

Community Activities and Local Development

In pursuit of a dynamic and open local community, each residents association undertakes independent community activities. In addition, each district carries out various projects with the aim of passing on and developing local traditions and culture.



小波津自治会の字誌「小波津誌」



小波津団地自治会35周年記念式典



梅の香りうた遊び大会（小那覇区）

自治会

自治会は、そこに住む住民が相互に協力・交流を図りながら親睦を深め、地域をよくしていこうという住民総意により結成された団体です。西原町では32行政区すべてに自治会が組織されており、各自治会が自主活動を通して地域の連帯感を高め、住みよい環境をつくっていくために公的機関との連携も図りながら幅広く活動しています。

1. 安全安心への活動
地域の安全を守るため、交通安全の街頭指導や青少年健全育成における夜間パトロールへの参加。防犯灯設置における行政への要望等も行っていきます。
2. 福利厚生（住民の親睦）の活動
住民相互の連絡、盆踊り・敬老会等の開催やいいあんべ事業（デイサービス）を取り入れるなどしています。また、各種募金の取りまとめも行っています。
3. 環境整備への活動
活動の場となる集会所の運営・管理、児童公園や拝所の清掃など、区民のみなさんが施設を利用しやすいよう環境整備の活動を行っています。
4. 行政連携への活動
町広報紙の配布や関係機関からのポスター掲示・各種広報物の配布への協力などを行っています。また、放送設備を利用した周知も行っています。

男女共同参画

本町では、男女共同参画社会の実現を目指した各種行政施策を推進するため、平成25年3月に第3次男女共同参画計画「さわふじプラン」を策定し、計画的、体系的な事業執行に努めています。

また、県内で唯一、平成16年から町内の全幼稚園、小中学校に男女混合名簿を採用しています。

西原町が目指す姿=7つの基本理念
(西原町男女共同参画推進条例第3条)

- (1) すべての人が性別にかかわらず個人の能力を発揮でき、人権が尊重されること。
- (2) すべての人が互いの性を理解し合い、妊娠、出産などの健康と権利が尊重されること。
- (3) あらゆる分野の教育の場において、男女共同参画が実現されるよう配慮されること。
- (4) 性別による固定的な役割分担意識が、活動の自由な選択に影響しないこと。
- (5) すべての人が社会の対等な構成員として、決定に参画する機会が確保されること。
- (6) 家族を構成するすべての人が子育て、介護などの活動について家族の一員としての役割を円滑に果たし、かつ、職場、地域等における活動と両立できるよう配慮されること。
- (7) 男女共同参画の推進は、国際社会における取組みと協調の下に行われること。